ツアー番号
LKZV76ACD6

東部への逃避行（10日間）

10日間・9泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

このツアーはネゴンボからジャフナ半島まで北上し、トリンコマリーの東海岸を南下して、文化三角地帯を内陸に進み、コロンボで終了する10日間のツアーです。北部のタミル文化遺産、くじら観察と島訪問ができる東海岸での海岸時間、そして文化的な中心地の古代都市、洞窟寺院、岩の砦を組み合わせています。

旅行者は一度のツアーでスリランカの幅広い横断面を体験できます。2000年以上の歴史を遡る2つのヒンドゥー寺院と仏教寺院、トリンコマリーでのくじら観察サファリ、ミンネリヤでの乾燥地帯象サファリ、シギリヤ岩への登頂、シギリヤ近くの村での体験（牛車乗車、カタマラン乗車、手作りランチを含む）があります。ツアーはコロンボのランドマークを巡るツアーで締めくくられ、帰宅便へと向かいます。

このツアーはLakpura®のシャフォーガイドが冷房付き車両で全体を通じて運営します。空港送迎、各停泊地間の移動、含まれているビジット及びサファリへの同行を担当します。



日程詳細

1日目　BIA → ネゴンボ

到着日:コロンボ国際空港での入国手続き後、Lakpuraのドライバーガイドがお客様をお迎えし、ネゴンボへ向かいチェックインします。

2日目 ネゴンボ → ジャフナ

北部ジャフナへのドライブでは、途中チラウに立ち寄った後、半島へと進み、市内の寺院や史跡を見学します。



ムネーシュワラム寺院

チラウ近郊にある地域で重要なヒンドゥー教寺院群で、少なくとも西暦1000年まで歴史が遡り、ラーマーヤナとその英雄王ラーマにまつわる伝説が残されています。この地域でシヴァ神に捧げられた5つの古代寺院のうちの一つです。

Leon Meerson · CC BY-SA 2.0

ジャフナ市内と寺院群

北部半島の中心都市ジャフナには、ナルール、ナーガディーパ、マーヴィッタプラムなど、合わせて4000年以上の歴史を持つヒンドゥー教寺院があります。その他の見どころには、オランダ要塞、戦争記念碑、サラスワティ・マハル図書館、ナーガディーパ・ヴィハーラ、そしてジャフナ最後の王チャンキリ1世の宮殿などがあります。

3日目 ジャフナ → ジャフナ

ジャフナ北部にあるナーガディーパ島への日帰り旅行。シンハラ語でナーガディーパ、古代にはマニパッラヴァムと呼ばれ、かつて蛇を崇拝するナーガ族の住まいでした。



ナーガディーパ・プラーナ・ヴィハーラヤ

スリランカで最も神聖な16の仏教聖地のひとつで、仏陀が2度目の島訪問の際に立ち寄った場所と信じられており、独特の建築様式と周辺の伝説を持っています。

derivative work: Taprobanus (talk) NainathivuNahaVihara.JPG: Regunathan Umapathy · Public domain



ナイナティヴ・ナーガプーシャニ・アンマン寺院

少なくとも2000年の歴史を持つことが記録されているヒンドゥー教寺院で、プトレマイオスにも記され、インドラ神の伝説と結びついています。ドラヴィダ建築様式を持ち、4つのゴープラムや複数のマンダパム、寺院の山車を備え、世界に64しかないシャクティ・ピータのひとつです。

Wikinamaste · CC BY-SA 3.0

4日目 ジャフナ → トリンコマリー

ルートは南東へと続きトリンコマリーへ向かい、午後は港を見下ろす丘の上の寺院と要塞で過ごします。



コネスワラム寺院

インドの詩聖たちに讃えられた古代寺院で、壁画にはその歴史が描かれています。洞窟の祠は紀元前1580年頃、本殿は紀元前400年頃に遡り、伝説によればこの地で礼拝したとされるラーヴァナ王の巨大な像があります。

Shamli071 · CC BY-SA 3.0



フレデリック要塞

1624年にポルトガル人によって、元のコネスワラム寺院から取られた石を使って築かれ、後にオランダ人によって解体・再建されました。

AntanO · CC BY-SA 4.0

5日目 トリンコマリー → トリンコマリー

海洋公園訪問と、トリンコマリー内陸部にある古代仏教遺跡での午後を組み合わせた一日です。



ピジョン島国立公園

珊瑚礁に囲まれた大小2つの鳩島からなる国立公園で、繁殖期の岩鳩や様々な種類の珊瑚、海洋生物が生息しています。

AntanO · CC BY-SA 4.0



ティリヤーヤ・ワタダーゲ

かつてタミル仏教の中心地であった村で、仏陀が2人の商人に髪の遺物を与えた場所とされるギリハドゥ・セーヤ・ストゥーパや、最後のヴァンニヤール首長の一人の要塞跡があります。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

6日目 トリンコマリー → トリンコマリー

海上でのホエールウォッチング・サファリに終日を費やします。



ホエールウォッチング・サファリ

軽食付きの5時間のボートトリップで、スリランカ南部の海域でシロナガスクジラ、マッコウクジラ、ナガスクジラを探します。資格を持つナチュラリストが同行し、その後はホテルで夕方を自由にお過ごしいただけます。

Ji-Elle · CC BY-SA 3.0

7日目 トリンコマリー → ポロンナルワ → ミンネリヤ → ダンブッラ

ツアーは内陸の古代都市ポロンナルワへ向かい、その後ダンブッラへ向かう途中でミンネリヤ国立公園での夕方のサファリを楽しみます。



ポロンナルワ

西暦10世紀から13世紀にかけて繁栄したスリランカ第二の主要都の。遺跡にはガル・ヴィハーラ、ワタダーゲ、蓮の池、ランカティラカ寺院、そしてこの都市の黄金時代とされる治世を担ったパラークラマバーフ王の像があります。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



ミンネリヤ国立公園

園内を巡る3時間の夕方のサファリで、5月から10月の乾季には150頭を超える象が集まる「グレート・エレファント・ギャザリング」で知られ、他にも様々な哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類が見られます。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0

8日目 ダンブッラ → シギリヤ → ダンブッラ

この日はシギリヤ・ロックへの登頂、近隣の村での体験、そしてダンブッラの石窟寺院を巡ります。



シギリヤ・ロック要塞

5世紀にカーシヤパ王によって築かれた岩の要塞で、巨大なライオンの爪をかたどった入口から入ります。登る途中には有名な壁画、段々畑の庭園、現在も機能する貯水槽、そして旧王宮へ続くトンネルがあります。

Wrobell · CC BY-SA 3.0



シギリヤ村ツアー

牛車に乗り、穏やかな湖をカタマランで渡り、水田の中を歩き、伝統的な料理のデモンストレーションを見学し、蓮の葉に盛られた家庭料理の昼食をいただく村の体験ツアーです。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ダンブッラ石窟寺院

紀元前1世紀に遡るダンブッラの黄金寺院で、仏陀の生涯を描いた壁画と、神の王の洞窟や偉大な王の洞窟を含む5つの主要な洞窟に数百体の仏像や神像があり、境内の外には大きな黄金の仏像が立っています。

Lankapic · CC BY 2.5

9日目 ダンブッラ → コロンボ

最終日の観光は、スリランカの商業首都コロンボを巡ります。



コロンボ市内観光

旧灯台、旧国会議事堂、ガレフェイス・ホテル、ガレフェイス・グリーン、ガンガーラーマ寺院、国立博物館といった名所に加え、独立記念広場、レースコース周辺、ショッピングエリアを訪れます。

Gihanud2001 · CC0

10日目 コロンボ → BIA

ゆったりとした朝を過ごした後、チェックアウトをして出発便に合わせて空港へ向かいます。

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, inclusive of all chauffeur accommodation.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges.

含まない

- Hotel Accommodation.
- International / Domestic Airfare.
- Any expenses of personal nature.
- Entrance fees to the respective sites.